

# 2017年後半、新たな有事相場への備え

国際金融問題研究家 豊島逸夫

- \* NYのヘッジファンドは日本株に注目
- \* 不安要因が増大すると円は高くなる
- \* 投資の神様、ジム・ロジャースは金にご執心
- \* 米・露はイギリスなきEUの不安定要因
- \* 米国のイエレンFRB議長の後任は誰か
- \* 気になるトランプのイランとの敵対姿勢
- \* 中国人が人民元を持ちたがらない理由
- \* 中国の商業銀行が抱える理財商品という爆弾
- \* 不気味なイールドカーブのフラット化
- \* 為替は中長期円安、原油は40ドル割れに



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
ほぼ1年ちょっとになりますが、今年も豊島さんに来ていただきました。ご存じのように、一橋大学を出られた後、三菱銀行を経てスイス銀行でディーラーをされまして、その後、ワールド・ゴールド・カウンシルの日本代表を務め、今は独立して国際金融を研究しておられます。経歴からおわかりのように、マーケットの現実と相場については熟知されている方でございますので、去年のお話でも、現在の市場の状況、それから今後の見通しについて、今日は非常に生のお話を伺えると思います。相場にご興味のある方がここにたくさんいらっしゃると思いますので、今日は参考にしていただけたらと思います。

それでは、豊島さん、よろしく願っています。（拍手）

**NYのヘッジファンドは日本株に注目**  
**豊島** こんにちは、豊島です。

1年ぶりですけれども、今、去年の講演録を見ていたら、5月13日にやっているんですね。ほぼ1年、いろいろありました。さっき控え室でも伺ったんですけども、ほとんどリピーターというか、前回おいでになった、あるいは講演録を読んでおられる方が多いと思います。ただ、それを前提にお話ししたいと思います。ただ、中には今日初めてだという方もおられるかもしれませんので多少おさらいもしながら。前回お見えになった方はおわかりと思います